

東京都認知症支援拠点モデル事業 取組報告

グループホームかたらい（認知症対応型共同生活介護）
世田谷区・特定非営利活動法人語らいの家

I 取組内容

①「あんしん生活マップ」の作成

<目的・概要>

認知症の人や家族が住みなれた地域で生活をするために、安心して買物が出来るお店や認知症についての情報を掲載した手引書の作成。（別添マップを参照。）

<実績・経緯>

詳細については「II あんしん生活マップについて」参照。

②認知症の人のサロン「サロン日ようび」の開催

<目的・概要>

- ・毎週日曜日、日曜日休業の空きデイを利用し、認知症の人が安心して過ごせるサロンを開催する。担い手は主に介護職員・看護師を配置し、ボランティアも起用。
- ・1時間単位の利用から受付けることで、家族や介護者にとっても、休息や買い物等、様々な形で利用が可能。

<実績・経緯>

- ・19年度延べ28人、20年度延べ124人（1回あたりの利用者数は2～3名）
- ・ボランティアを認知症サポーター養成講座受講者から募集し、20年度には参加を得た。
- ・夫婦で利用し一緒に昼食を食べる、家族と一緒に来てサロンのスタッフに相談するなど、デイとは異なった利用をする人が多かった。
- ・より多くの人を利用できるようにするため、ボランティアによる送迎（徒歩・帰りのみ）を導入した。

※21年度も継続実施予定

③家族会の開催

<目的・概要>

- ・専門家（精神科医、臨床心理士）がアドバイザーとして入る家族相談会を毎月1回開催。

<実績・経緯>

- ・2年間延べ76名
- ・病院ではゆっくりと伺えない話も、この場を利用してゆっくりと話をする事ができた。

※21年度も継続実施予定

④中学生のための認知症勉強会と体験学習の開催

<目的・概要>

- ・中学校の「職場体験」授業を活用した、グループホームでの現場体験とサポーター養成講座を開催。将来の福祉に携わる人の育成や、認知症サポーターとして期待できる可能性もあり、多くの福祉施設やグループホームへ広がることを期待。

<実績・経緯>

- ・19年度1校、20年度2校、計12名。1回あたり3日間の体験学習。
- ・体験の中で「認知症」を知り高齢者と関わり生活を共にすることで、福祉への興味を抱いたり、「サロン日ようび」の手伝いに訪れる生徒がいた。
- ・また、認知症の人にとっても、中学生に対し優しく声をかける場面や一緒に散歩等に出かけ、普段の生活に心地よい刺激となっていたと思われる。

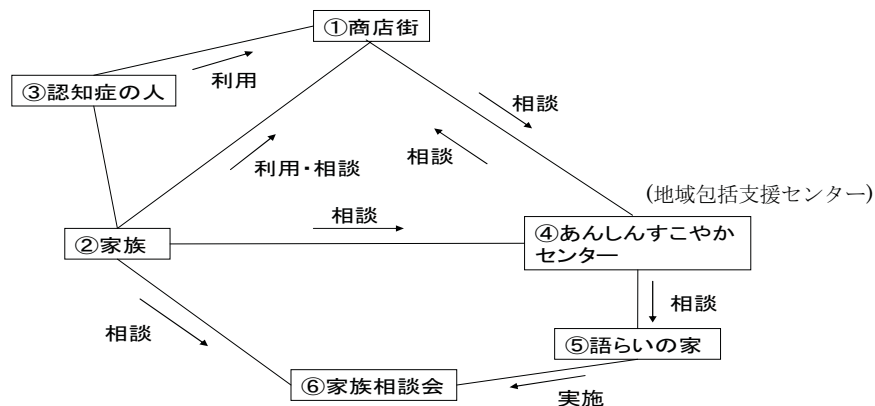
※21年度も継続実施予定

Ⅱ あんしん生活マップについて

1. 目的

- ① 認知症の人や家族が住み慣れた地域で安心して買物や外出ができるようにするためのまちづくり
- ② 今回は商店街を中心に、たとえ認知症であっても、商店街利用者として社会資源を活用しながら生活を継続できるようにするためのネットワーク作り

商店街を利用する認知症の人を支えるイメージ図



<イメージ図より・・・>

商店街を通じ、利用する認知症の人や家族がいつでも安心して買物ができる関係、つまり、利用する中で何かあった場合（相談やトラブル等）や、認知症の人やその家族の立場に立った時に必要・適切なサービスの利用につなげることができるようにするためのネットワーク作り。

具体的には、商店としては認知症や障害があるなしに関わらず、どんな方でも入ってもらえるように目印を設置する（※「しんせつシール」の配布）。これは商店側からの視点ではなく、利用者側の視点に立ち、そうしたシールを目印にして安心して入れる場所を作る。ただし、商店としては何かトラブルや困ったことがあった場合は助けが来てもらえるような体制を作らなければ、商店の不満も募る。そこで、世田谷区内の地域包括支援センターの取り組みで、センターに連絡するとすぐに職員が駆けつけ、その後はその職員が対応するという取り組みがあり、これを活用し、こうしたシステムを作ることができた。

このシステムは認知症の早期発見・適切な介護サービスへとつなげる一歩になるだけでなく、商店としても何かあった場合の安心材料となり、認知症の人が地域で生活を継続することを支えることにもつながると考えられる。

あんしん生活マップには、しんせつシールが貼ってある商店を記載（3月末で94商店。但し、介護事業所等も含む）。それ以外にも地域包括支援センター、家族相談会などの情報も記載し、様々な人が活用できるマップを作成した。現在は印刷したマップを商店や介護事業所、地域包括支援センターへ配布し、様々な人に認知症についての情報を知ってもらうとともに、身近にいる認知症の人やその家族へ当たり前のよう情報を提供できるようになることを願っている。

2. 具体的な取組内容

① 祖師谷商店街振興組合・祖師谷商店街昇進会理事会への参加

しんせつシール・あんしん生活マップの主旨の説明、協力依頼を行う。

※最初は中々受け入れてもらえず（親切にしているし、そんなことしなくても客は来る）、しかし、当事者側とのズレはないかななどの話から、実際に当事者の意見は聞いてみたいという話が商店側から出てくる。

② 利用当事者アンケートの実施（内容、結果は資料1に掲載）

・平成19年12月末～平成20年2月上旬まで実施

祖師谷商店街近隣のデイサービス、居宅介護支援事業所、障害者施設、あんしんすこやかセンターに配布（全100枚、但し、そこから各事業所を利用する方へ配布していただいたため、実際は何名まで行き渡ったのかは不明）

・回収36枚（全100枚配布されたとすると、回収率36%）

・一枚で複数名の回答あり（本人と家族）

※これらは大切な当事者側の情報であるとともに理事会で報告し、改善につながらなくとも当事者の意見を知ってもらうことにつながった。

③ 「しんせつシール」の作成・配布

まずは、「しんせつ」をテーマに、このシールが貼ってある商店は「どんな方でもどうぞお気軽にお入り下さい」という目印にしようという内容で「しんせつシール」を作成。商店街理事長の協力の下、シール配布活動を行う。

理事長とともに商店街を一軒一軒まわり、商店に貼っていただく。

④ 「あんしん生活マップ」の作成・配布

シールが貼ってあるお店を後日確認。貼ってある商店を中心にマップを作成。再度、協力依頼を行い、完成後は配布して商店に置いていただく。

3. 行って見てわかったこと

① 商店街とのつながりの難しさ

商店街振興組合の理事長は、語らいの家の法人関係者の知り合いであった。そこで理事長と話をすぐに行うことができ、また、昇進会の理事長を紹介してもらうなど、活動を行う上で中心の人に話をして進めることができた。理事会の中では、活動に否定的な

意見（認知症の人がきても困る、認知症の人と一目でわかる目印でもつければいいなど）もあったが、肯定的な意見（これからそういった人が増えるので、誰もが安心できるまちと認められることも必要など）もあった。また、理事長が積極的に協力してくださり、一緒に商店をまわることを行ってくださった。こういった関係がない状態で商店街に話を持っていくのは恐らく難しく、特に実際に認知症の人のケースを目で見て説明するのではなく、あくまでも言葉の中で理解してもらいながら話をするため、現実と結びつかないような人もいたようだった。

② 具体的なマップ内容・ネットワーク作りについて

マップ内容の検討に関しては、検討会を2月に1回ほど開催し、その内容等について協議を重ねてきた。メンバーは認知症サポーター養成講座を受講したサポーターからボランティアを募集し、7名が参加。検討会の参加以外にも、実際に商店を歩いたり配布活動を手伝ってもらうなどを一緒に行った。しかし、当グループホームが商店街から離れたところにあることや人手不足も影響し、思うように活動が行えなかった時期もあった。また、シールを配布してからマップ作成までの時間が空いてしまい、再度その主旨を説明することもあった。

③ 今後の継続性（まとめ）

認知症の人が住み慣れた地域で生きるために、私たち専門職にできることは何か、一般の人に協力していただけることは何かと考えるが、特に一般の人に対しては、専門職ではないので、「誰にでも今すぐできること」から考える必要があるのではないか。そのためには私たち専門職が認知症に関する知識を提供する機会（例えばサポーター養成講座）や、その人の状態によってお店に入れられないようなことがないように（これは本人だけでなく、一緒に買物している家族が迷惑をかけてしまうのではと思うことがあるので）、どんな方にも気軽に安心して買物が楽しめる商店をお客さんに示す必要がある。しかし、商店としては何かトラブルが発生しても困るので、そういった場合に何か連絡を取ることによって解決できるシステムを作ることによって商店としても安心してどんな人でも受け入れることができると考えられる。また、そうしたシステムを作るためにも私たちは様々な情報を知っておく必要があり、それが最終的には「しんせつシール」と「あんしん生活マップ」の具体的内容につながったと考えられる。

現在は94店舗がこの主旨を理解し協力して下さり、商店にマップが置かれている。今後もシール配布活動はボランティアに協力してもらい、シールが貼ってある商店を増やし、マップを更新したいと考えている。

しかし、私たちはシールを貼ることが目的ではなく、その主旨を理解し誰でも安心して暮らせるまちを目指し、認知症の人がどんな状態になってもそこで生活を継続できる社会資源を作ることが認知症の人や家族にとっての安心につながると考えられる。

今後はボランティアを活用しながら、引き続き商店へ働きかけるとともに、1軒でもお店を増やし、認知症に理解のある商店が一軒でも増えるように地道に取り組んでいきたいと考えている。

資料1

アンケート（下記の項目にお答えください）

※一枚で複数名の回答あり（本人と家族など）

○あなたは、祖師谷商店街を利用されたことがありますか？

はい・・・29　　いいえ・・・4　　無回答・・・4

○家族の方は、本人と一緒に商店街を利用することはありますか？

はい・・・20　　いいえ・・・14　　無回答・・・4

はい　とお答えの方にお聞きします。

○どのような商店を利用していますか？（複数回答可）

個人商店・・・23

（飲食店・・・12　美容院・・・14　肉屋・・・9　魚屋・・・5

無回答・・・7

その他・・・薬局2、八百屋、そば屋、電気屋、文房具店、雑貨店、理髪店　）

スーパー・・・21　コンビニ・・・14　郵便局・・・20　医院・・・17

銭湯・・・5

その他・・・銀行2、衣料品店2、花屋、米屋、クリーニング店

○その他に利用したいお店はありますか？

はい・・・6　　いいえ・・・12　　無回答・・・18

それはどんなお店ですか？

- ・下着
- ・個人商店（お店が狭くて入れない）、2階にある店・医院（エレベーターがないと上がれない）
- ・お店の人と話ができるスペースがあるお店
- ・イスやテーブルがある空間
- ・花屋
- ・昔の長崎屋的な店舗がほしい
- ・下着やカバン、小物などがそろっている店
- ・薬局

○障害を持っていることで、利用される時に困ったことはありますか？

はい・・・8　　いいえ・・・8　　無回答・・・19

それはどんなことですか？

- ・お店が遠い

- ・道路に自動車や荷物が出ていて歩きにくい
- ・店の中の通路が狭く、押し車で歩行しにくい
- ・エレベーターの無い歯科は利用不可です
- ・道が狭くて自動車が止めてあるので歩きづらい（特に駅周辺はひどい時がある）
- ・車椅子なので二階はエレベーターでもないと利用出来ない
- ・買物の途中で疲れた時に休む場所に迷ったこと
- ・段差のある店
- ・道路の混雑
- ・個人商店は道路との段差や店内通路が狭いこと等、車イスや杖をついての入店が危険
- ・スーパーのレジは混雑していて時間がかかる、お金の出し入れ等、気を使うことが多い
- ・段差があつて車イスではお店の中に入ることが出来ず、道路で待っていることしかできず、残念でした。
- ・階段の上り下り
- ・なかなか店員さんの声が聞こえなくて自分がはっきりとわからないことがあつた（耳に障害があるため）
- ・人ごみは歩きにくい
- ・認知症があり、1人では外出できない

※障害状態についてお聞きします

○ご本人はどのような障害を抱えていますか？

- 目の障害・・・1 耳の障害・・・7 運動機能障害・・・23
 内部障害・・・3 認知症・・・17
 その他の障害・・・高次脳機能障害

○どのような歩行状況ですか？

- 自立・・・7 杖歩行・・・11 一部介助（支え歩行）・・・5
 車イス・・・20 無回答・・・1

○商店にこうしてほしいなどのご要望やこれまでに商店街を利用して不便を感じたりしたこと、その他商店街にあったらいいと思うものなど、どんなことでも構いませんのでご自由にお書き下さい。

- ・ 祖師谷商店街はたくさんのお店があり、満足しております。
- ・ 大型店は何でもそろっていて便利ではあるがレジに並んでの買物が大変である。個人店で対面の買物又配達等があるととても嬉しい。体調により家から出られない時など電話で注文できると大変助かる。
- ・ 介護用品のお店もほしいです
- ・ 重い荷物は持てないので、配達があればとても良い
- ・ 個人商店の方の親切がありますのでとても助かっております。車イスごと店内に入ることが出来ますので。

- ・ 夕方の時間帯に車の通行を制限して欲しい
- ・ 自転車置き場の確保
- ・ スーパーは少し休憩出来るベンチなど欲しい
- ・ 商店街にもベンチを欲しい
- ・ 自動車が入ってくると、そこで人や自転車の流れが滞るので時間帯を決めて自動車進入禁止にするとか（例 午後3時～6時）
- ・ 商店街や裏道にイスや腰を降ろして休むベンチなどがほしい。
- ・ 歩道が狭いので障害が無くても、商店街を歩くのは不安です。
- ・ 商店街の道路の幅が狭い
- ・ 商店街を散歩しています
- ・ 祖師谷商店街は車、自動車、人が混在していてとても歩きにくいと思います。
- ・ 道路が狭いので車の規制が必要（ゆっくりした気分での買物が出来にくい）
- ・ 二階にある医院、美容院にはエレベーターをつけてほしい。
- ・ 休憩できる所があると助かります。
- ・ 休憩する所。介護人も疲れています。一緒に休める所がほしい。
- ・ 商店街の店頭に休める腰掛けを3箇所程設置を希望します。
- ・ 有料の車イスを常備して頂きたい。
- ・ 我家の高齢者は、ひとり杖、ひとり車イス（片マヒ）ですが、商店街の自転者と車の交通が激しく、二人を連れて出るのは大変な仕事です。歩道の整備、商店前の自転車置き場、飛び出した電柱、商店前のスロープの不備など、問題が山積みですね。高齢者、障害者のための歩行専用タイムなどの設置も考えられませんか？銭湯も券を頂いていましたが、あまりの混み様にとっても連れて行けませんでした。また、美容院も腰を伸ばせなくてもシャンプーしてもらえるような設備が一軒でもあれば良いと思います。

資料2

東京都認知症支援拠点モデル事業所要経費

19年度 所要経費(積算内訳)

単位:円

項目	費目	用途	単価	数量	単位	金額(税込)	備考
①あんしん生活マップ	広報費	広告チラシ(養成講座用)	6	1,500	部	9,000	年4回開催 チラシ配布
	事務費	アンケート作成	80	100	部	8,000	切手代
	〃	〃	10	100	部	1,000	封筒代
	事業	区民集会所	200	1	回	200	

②サロン日よ うび	人件 費	看護師	時給 1800円	19 (97.48)	日 (h)	175,460	10月～3月週1回雇 用
	交通 費	有償ボランティア	1,000/ 人	9	〃	9,000	10月以降週1回支 給
	広報 費	広告チラシ	6	1,500	部	9,000	
	〃	チラシデザイン料	46200			46,200	
	〃	アンケート	4	200	部	800	
	〃	広告チラシ(養成講 座用)	6	1000	部	6,000	
	〃	アンケート(養成講 座用)	4	200	部	800	
③家族会	人件 費	講師謝礼(医師)	35,000	3	回	105,000	
	〃	講師謝礼(その他)	15,000	2	回	30,000	
	〃	講師謝礼(その他)	8000	1	回	8,000	
④小中学生のため の認知症勉強会	広報 費	テキスト作成	6	10×10	部	600	
	事務 費	アンケート作成	6	30	部	180	
合計						409,240	
内訳	補助対象経費					409,240	
	補助対象外経費					0	

20年度 所要経費(積算内訳)

単位:円

項目	費目	用途	単価	数量	単位	金額(税込)	備考
①あんしん 生活マップ	人件 費	地域コーディネータ ー	4,000	12	回	48,000	
	広報 費	広告チラシ(養成講 座用)	5.2	2,000	部	10,400	年5回開催 チラシ 配布
	〃	マップ作成	210	2,000	部	420,000	
	〃	シール作成	525	500	枚	288,750	
	事業 費	アンケート作成	4.2	500	部	2,100	
	事務 費	区民集会所	300	5	回	1,500	
	〃	アンケート用封筒	20	300	枚	6,000	

	〃	アンケート用切手	80	300	枚	24,000	
②サロン日よ うび	人件 費	地域コーディネータ ー	6,000	40	回	329,800	
	〃	看護師	10,800	40	回	443,680	
	広報 費	広告チラシ	5.2	4,000	部	20,800	
	光熱 水費	電気・ガス・水道	5,000	12	月	60,000	
③家族会	人件 費	講師謝礼(医師)	35,000	6	回	210,000	
	〃	講師謝礼(臨床心 理士)	20,000	6	回	120,000	
	事業 費	語らいの家 利用 料	1,000	12	回	12,000	
	〃	アンケート作成費	4.2	100	枚	420	
	〃	チラシ作成費	5.2	3000	枚	15,600	
④中学生のた めの認知症勉 強会及び体験 学習	人件 費	地域コーディネータ ー	6,000	3日×2	回	36,000	年2回、3日間/回 雇用
	広報 費	テキスト作成	4.2× 5枚	40	部	840	
	事務 費	チラシ作成費	5.2	150	部	780	
	〃	アンケート作成費	4.2	40	部	168	
認知症勉強 会とサポータ ー養成講座	人件 費	講師謝礼(医師)	35,000	2	回	70,000	
	〃	講師謝礼(その他)	25,000	2	回	50,000	
	事務 費	チラシ作成費	5.2	800	部	4,160	
	〃	アンケート作成費	4.2	200	部	840	
備品(全プロ グラム用)	事務 関係 費	文具費	20,000	1	式	20,000	
合計						2,195,838	
内訳	補助対象経費					2,000,000	
	補助対象外経費					195,838	